

コーエイが荒尾市に寄付

ウエルネス拠点整備へ

かばんの製造・販売などを手がけるコーエイ(本社・熊本市南区、松下輝昭社長)は1月28日、荒尾市に「企業版ふるさと納税」で30万円を寄付した。市は荒尾競馬場跡地に道の駅と保健・福祉・子育て支援の機能を備えた「ウエルネス拠点施設」を整備する事業に活用する。



市役所であった贈呈式

震や豪雨災害で被災した熊本県内自治体への寄付を続けている。今回は肥後銀行が仲介した。

市役所で贈呈式があり、松下社長が目録、浅田敏彦市長が感謝状をそれぞれ贈った。松下社長は「災害対応の経験などを商品作りに生かしたいと考えている。令和2年の水害は荒尾市でもかなりの被害があったと聞いている。知見を共有できれば」と話した。浅田市長は感謝を表し「行政分野で一番大事なのは、やはり防災。経験や今の取り組み

が少しでも参考になれば」と述べた。同市への企業版ふるさと納税寄付額は本年度、今回



を含めて5件で合計140万円。

(起汐一郎)

古布とかすりの作品

古賀政男生家で展示

8日から・大川

古布とかすりの作品展が8、9日と22、23日の2回、大川市三丸の古賀政男記念館に隣接する生家で開かれる。

大牟田市田隈に古布創作「きざし工房」を構えている中川孝子さんが、東北に古

布として流入した手紡ぎ、手織りの頃の素材を用いて創作した作品を展示する。蚊がすり、雪がすり、あられがすり、井桁模様、型染め、筒がき、刺し子など古

代かすりのさまざまな模様

乳幼児のためのおはなし会

大牟田

6日 カルトックス

大牟田市立図書館は6日午前11時から、カルタックスおおむた3階集客室で乳

日中友好記念として

上海歌舞団が「朱鷺」上演

来月5日・福岡市 日中友好記念作品として上海歌舞団の舞劇「朱鷺」が3月5日、福岡市博多区の福岡サンプレーズホテル&ホールで上演される。

同歌舞団は1979年に設立され、舞踊、演劇、歌、楽器演奏など総合的なパフォーマンスを披露している。今回は8年ぶりの来日で、前回の日本公演で好評を博した「朱鷺」を上演。びくびくと優しく頭や腕を震わせ、しなやかに

に背中を反らすキの繊細な所作がある。トキは200で一度絶滅。そこから譲られた個の佐渡トキ保護中心に増やし、0羽以上がほほで生息している。同劇は午後5時に開演。入場料

花粉情報

<5日の飛散>

筑後	—	—
福岡	▲	—

総合葬祭

白雲社

あらお中央ホー ル
たちばなホー ル
荒尾市荒尾994-1
☎0968(64)3300
大牟田市橋本84-8
☎0944(58)7700